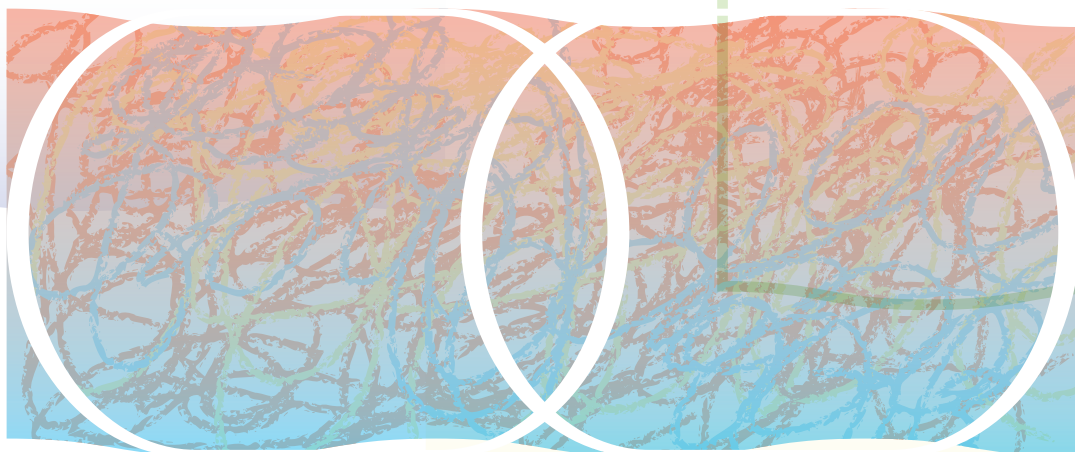


1

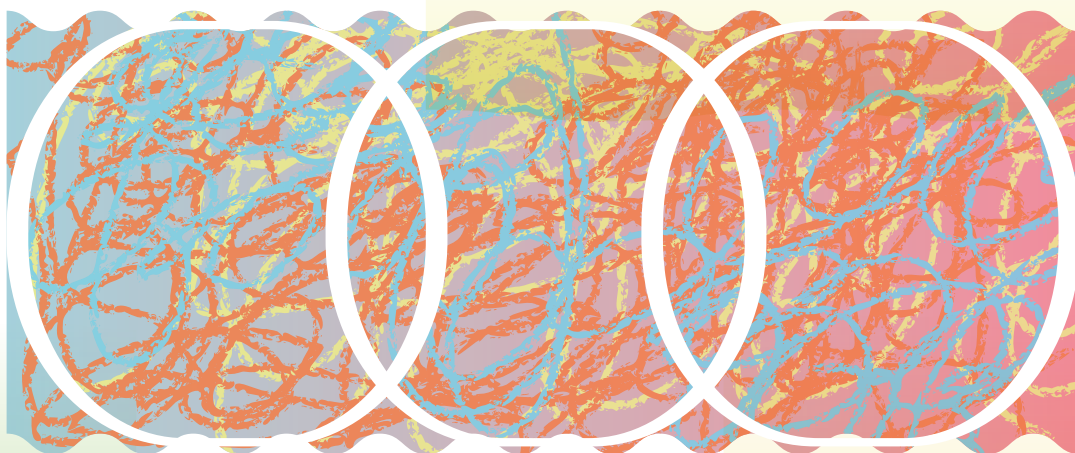
ヒヤクニン



人

1

センネン



年

京都 はたららく 会議

ぼくたちは、もっと心地よく、働くことができるはず。
学生もフリーランスも、社会人も経営者も、
世代も立場も背景もさまざまな100人で入り混じり、
ぼくたちのこれからを語ろう。

これからの複雑・曖昧で不確実な時代にあって、
ぼくたちは、どう生きて、どう働いていくのか、
自問自答を重ね、揺らぎながら日々を過ごしている。
そして、その間に正解などないと分かりつつも、
これまでの「常識」や「正解」に寄りかかったりもする。

「100人1000年 京都はたららく会議」は、
そんなぼくたちのこれからを語り合い、つくっていく場。

第1回となる今回は、『「能力」の生きづらさをほぐす』の著者で、
職場づくりの専門家である勅使川原真衣さんをスピーカーにお招きし、
働く環境づくりから仕事観の変革に取り組むウエダ本社の岡村充泰社長、
京都市ソーシャルイノベーション研究所の井上良子さんを交え、
ぼくたちの社会を覆う能力主義の行き詰まりを明らかにしながら、
これからの組織、これからの働きかたについて、会場全体で語り合います。

2024

3.13 (水)

13:30~17:30 開場 13:00

*交流会あり(19:00まで)

@京果会館

KYOCA Food Laboratory 3階「HACOBA」

(京都府京都市下京区朱雀正会町1-1)

京都で 今日から 未来をはじめる
1000と KYOと

100人1000年 京都はたらく会議

プログラム

第1部 キーノートセッション

「これからの社会、これからの働きかた」

今の社会の生きづらさを生み出す背景には何があるのだろうか。これからの社会、組織、働きかたはどうなっていくのだろうか。社会的企業の経営者、組織開発コンサルタント、ソーシャルビジネス研究者のゲスト3人とともに、一人ひとりの持ち味や可能性を生かしながら社会・組織のありかたや、これからの働きかたを探るトークセッション。

第2部 100人ダイアログ

「京都はたらく会議」

学生もフリーランスも、社会人も経営者も、世代も立場も背景もさまざまな100人に入り混じり、平たく自由に、ぼくたちのこれからの語り合いたい。知らずのうちにとらわれている「常識」や「正解」から脱け出し、望ましい未来をともにつくっていくために。これからの1000年を紡ぐ認定企業と若者たちとのダイアログの場。

日時：2024.3.13(水) 13:30-17:30 開場13:00

交流会あります。どうぞ参加ください！(19:00まで)

会場：京果会館

KYOCA Food Laboratory 3階「HACOBA」

京都府京都市下京区朱雀正会町1-1

JR京都駅から徒歩20分、JR梅小路京都西駅から徒歩1分



定員：29歳以下の若者50人

*京都市内の企業経営者・幹部・若手社員や、大学関係者やクリエイター、フリーランスなど幅広く呼びかけを行い、総勢100人の方々と一緒に、この場をつくっていきます。

参加費：無料

【お問い合わせ】

✉1000kyoto@bokumin.jp



Instagram



X(旧Twitter)



申込はこちら

ゲストスピーカー

おのみず株式会社 代表取締役

勅使川原 真衣 (てしがわら・まい)

1982年横浜生まれ。チームづくり・組織づくりの専門家。東京大学大学院にて教育社会学を学ぶ。外資コンサルティングファーム等を経て独立し、企業、病院、学校、家族などのチームに寄り添い、人と人の関係をよりよくなる組織開発に取り組む。著書『能力の生きづらさをほくす』は、個人の能力に責任を負わせる「能力主義」の行き詰まりを課題提起し反響多数。「紀伊国屋書店じんぶん大賞2024」8位入賞。2児の母。乳ガン闘病中。



株式会社ウエダ本社 代表取締役社長

岡村 充泰 (おかむら・みつやす)

1963年京都生まれ。2000年に家業のウエダ本社の代表取締役副社長に就任。赤字会社の再建に取り組み、負債整理、子会社合併などを行い、現体制のウエダ本社として第二の創業を図る。08年、「京都流議定書」を発起人として立ち上げ。文化・社会関係資本を重んじる社会的事業や道徳経営を京都スタイルとして提示。「宇宙を想え、人愛せ」を社是に、人びとの働く環境づくりを通して、日本人の仕事観のイノベーションに取り組む。



これからの1000年を紡ぐ企業認定審査委員(2015~2020年)

京都市ソーシャルイノベーション研究所 (SILK)

イノベーション・コーディネーター

井上 良子 (いのうえ・りょうこ)

福岡市出身。九州大学法科大学院修了。九州大学ユネスセンターでソーシャルビジネスの創出支援等に従事し、ムハマド・ユヌス博士や海外教育機関等との連携を進める。その後、NPOにて東南アジアの社会的企業と日本企業をつなぐ越境人材育成プログラムなどを推進し、2020年から現職。well-being経営や内発的イノベーションによる組織・地域づくりについての研究等を行う。世界人権問題研究センター専任研究員(ビジネスと人権)。



これからの1000年を紡ぐ企業認定審査委員(2023年~)

モデレーター

「1000とKYOと」*ディレクター／一般社団法人ぼくみん 代表理事

今津 新之助 (いまづ・しんのすけ)

「SOCIAL WORKERS LAB」「ふくしデザインゼミ」など、10代20代の若者たちとともに領域横断的なプロジェクトを手がける「ぼくみん」の代表。京都大学教育学部を卒業後、2001年に沖縄移住。人づくり、仕事づくり、地域づくりを行うコンテキスト・カンパニーを経営。22年より京都へ。ひらかれた対話と協働の場づくりを通じ、分野・領域を跳び越え、一人ひとりの持ち味と可能性が発揮される仕事づくり、チームづくりに取り組む。



*1000年先に続く持続可能な社会をつくろうとする企業と若者たちが新たに出会い、対話・交流し、協働しながら、これからの働きかた・生きかたをともに探索するプロジェクト。

主催：京都市

企画運営：一般社団法人ぼくみん、株式会社おいかぜ、前田展広事務所

*本企画は、京都市の令和5年度「これからの1000年を紡ぐ企業認定」情報発信業務及び認定企業交流会企画・運営業務で実施しています。

発行：産業観光局 地域企業イノベーション推進室 令和6年1月
京都市印刷物第054845号



京都市では、1000年先に続く持続可能な社会をつくろうとする企業を後押しすることを目的に「これからの1000年を紡ぐ企業認定」を2015年から運用。マルチステークホルダーに配慮し、ソーシャルイノベーションに取り組む72社を認定しています。

「これからの1000年を紡ぐ企業認定」

